

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 20日

事業所名

ステラ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		日によって増減する為、必ずしも適切とはならないが、都度スタッフが個室や外を薦める等して、バランスを取っている
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		現状人員は足りているが、個別支援が必要な場合は都度協力して対応が可能なようにしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		段差は少なく、バリアフリーは行き届いているが、窓際の手すりに關しては登ってしまう利用者も居るため、良し悪しである
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		スタッフの入れ替えがあった為、育成と合わせて改善に努めている
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		毎年アンケートを行い、保護者の声を反映出来るようにしていく
適切な支援の提供	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		HPIにて公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	現在外部評価までは行っていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		5年度はスタッフの入れ替え等で参加機会が減っていたが、6年度は積極的に研修の機会を確保に努めている
アセスメント	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		個別支援計画の内容を日々の支援に取り入れ、更新の為にアセスメントを行っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		ツール等は多くないが、アセスメントシートは画一化された物を使用している
支援計画	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		取り込むようにはしているが、今後改善できる部分は多く、改善していきたい
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		計画に沿った支援を行えるようにしているが、当日の利用状況や本人の状態によっては行えない場合もある
活動プログラム	13	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		スタッフ間で意見を出し合ってプログラムを立案している
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		新年度に向けて新しいプログラムを検討していきたい
集団活動	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		集団活動が苦手な利用者が多く、どういうアプローチをしていったらいいか、考えていきたい
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		ミーティングで打ち合わせや日々の確認を行っている
支援終了後	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		翌日のミーティングにて振り返りを行っている。重要事項があった場合は当日中に確認を行っている
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		ミーティングで振り返りを行うと共に日々の記録を取る事を徹底している。今後、寄り良い形式や記録の取り方を追求していきたい
定期的モニタリング	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		参加出来る職員間で話し合い、定期的なモニタリングと計画の見直しを行っている

関係機関や保護者との連携機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者が参画している。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		<input type="radio"/>	現在ないため、検討していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		<input type="radio"/>	原則医療的ケアの必要な児童は受け入れをしていないが、受け入れの場合はしっかりととした体制を整えていきたい
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		<input type="radio"/>	原則医療的ケアの必要な児童は受け入れをしていないが、受け入れの場合はしっかりととした体制を整えていきたい
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		進学前の引継ぎ等の支援会議には参加するようにしている
	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>		進学前の引継ぎ等の支援会議には参加するようにしている
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		<input type="radio"/>	現在は行っていないが、今後検討していきたい
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		<input type="radio"/>	現在は行っていないが、今後検討していきたい
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		<input type="radio"/>	現在は行えていないが、今後検討していきたい
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>		連絡帳及び口頭にて日々のやり取りを行っている
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		<input type="radio"/>	質問や悩み等には都度相談に乗るようにしているが、専門的なトレーニングまでは行っていない
	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に、契約書や重要事項説明書にて説明している。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者が、支援内容を保護者に説明し同意を得ている。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		都度、相談や悩みに対しては適切に対応するように心がけている
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>	現在、父母の会や保護者会等は設けていない。必要な声があれば検討していく。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		苦情要望があった際には都度スタッフ間で話し合い、解決策を出し合っている
保護者への説明責任等	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		毎月お知らせを発信している
	37	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		取り扱いには十分注意している

	38 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	常に配慮するよう心掛け、情報伝達手段を検討している
	39 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	現在は行っていないが、今後検討していきたい
非常時等の対応	40 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>	現在マニュアルはあるが、まだ周知にまで至っていない。
	41 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	5年度はスタッフの入れ替え等で参加機会が減っていたが、6年度は積極的に行っていきたい
	42 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	<input type="radio"/>	契約時や、保護者に適宜記入してもらっている事業所独自のアセスメントシートで確認したり、面談や送迎時の時に確認したりしている。
	43 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	契約時や、保護者に適宜記入してもらっている事業所独自のアセスメントシートで確認したり、面談や送迎時の時に確認したりしている。
	44 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	都度ミーティングで話し合い、ノートに記載しているが、ヒヤリハットもしっかりと活用していきたい
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	毎年行っているが、定期的な研修の回数を増やしていきたい
	46 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>	契約時に説明も行っているが、今後どうしたら寄り良くなるのかを検討し、しっかりととした体制を作っていきたい

